



令和3年度学校だより

9月15日

五福校 ごふくこう

No73

文責 本田

日本語大好き事業 福田浩一さんをお迎えして

先日、3年生と4年生は元テレビ局アナウンサーでVoice Registaの代表取締役の福田浩一さんをゲストティーチャーとしてお招きし、『プレゼンテーション力の土台となる「表現する力」を体感する』と題して授業をしていただきました。福田浩一さんをご存知の方も多いと思いますが、現在も社長業だけでなくバスケットのヴォルターズの試合の実況などでもご活躍されています。今回は4年生の国語の教科書にある「こわれた千の楽器」を題材として言葉のイメージをどう表現するかということについてわかりやすく解説していただきました。また、同じ言葉でもその時の心情や伝える相手によって全く意味が違ったり、同じ写真でも受け取り側の響き方は様々であることなどを考えていきました。そして、どうすればその言葉がきちんと相手に伝わるのか、届けることができるのかを教えてくださいました。3年生にとっては来年習う教材だったので少し難しかったようです。4年生は1学期に学んだ教材なのでもう一度深くその内容や言葉の意味を考える機会になりました。3年生も今回は難しくても、来年「あの時そういえば学習したな」って思い出してもらったらいいなと思っています。同じ文章の音読でも「伝われーっ」という思いで気持ちを込めて一言一言読むことで伝わり方が違ったり、お友達と話をするときも相手のことを考えて伝えるようにしたり、地域の方をはじめ大人と話をするときも適切な言葉を選ぶことができるようにしたりしなければならぬことを、この度の授業から僕たち教師も学ばせていただきました。



4年生の様子 活発に自分の考えを出すことができました。



2回目の朗読が変わったことを自分たちも実感しました



3年生の様子 内容が難しかったけどしっかり考えることができました。

子ども達の授業後の振り返りから.....

写真とかでも表情とかを見たらその人の気持ちとか考えていること?がわかるんだなあ自分でも感じました。あと、人になんか発表するときには言葉を選んで本当にこれで伝わるのか?と考えてから発表とかしたりしたいです。

音読の仕方はいろいろあってその人物の気持ちを考えて声を低くしたりして相手に気持ちを伝える気持ちで読んだらいいと教えてもらいました。他にも大きいものだったら太い声にしたり小さい物は細い高い声にしたりしたいと思いました。「うっ」とためて一気に出したりしてもいいと思いました。手でジェスチャーもしていました。これから音読するときは気持ちをしっかり考えて読みたいと思いました。

今までは、登場人物の気持ちになって読むことができていると思っていたけれど、自分が全然登場人物の気持ちを読み取れていないことがわかりました。福田先生の読み方がとても登場人物に合った言い方だったので私もまねして読んでみたら、今よりとても登場人物がどう思っていたのかがあらためてよくわかりました。そしてどんな思いでこの言葉を発したのかがよく伝わりました。今回の福田先生の授業で登場人物の気持ちが変わりました。これからも今日のことを忘れずに音読に取り組みたいです。